

## 第5回小田原市市民活動推進委員会 会議録

- 1 日時：令和6年2月26日（月）午前9時30分～正午
- 2 場所：おだわら市民交流センターUMECO 会議室5・6
- 3 出席者：前田委員長、林田副委員長、北村委員、杉川委員、渡邊委員、安藤委員  
関係者：UMECO指定管理者 柏木センター長、興津副センター長、桂氏（議題（1）②から）  
事務局：澤地課長、八田副課長、岡崎主査
- 4 欠席者：杉浦委員、島田委員
- 5 資料：
  - ・次第
  - ・資料1-1 UMECO第三者評価（令和6年度実施事業分）実施要領
  - ・資料1-2 令和5年度おだわら市民交流センターUMECO第三者評価の流れ（案）
  - ・資料2 おだわら市民交流センター実施事業計画（令和6年度）
  - ・資料3 諮問事項に係る協働促進施策の検討について

### 6 会議内容

#### ■ 開会

委員長：ただいまから、第5回小田原市市民活動推進委員会を開会する。

本委員会の会議は原則公開となっているが、議題（3）市民活動・協働応援制度補助金第一次審査は、補助金に係る書類審査を実施するにあたり、市民の間に不当な影響が生じないようにし、かつ特定の者に不当な利益又は不利益を与えないようにするため、小田原市情報公開条例第24条第3項に基づき「非公開」とする。

#### ■ 議題（1）おだわら市民交流センターUMECOについて

委員長：議題（1）おだわら市民交流センターUMECOについて、①第三者評価について、事務局からご説明をお願いしたい。

（事務局 資料1-1、1-2に基づいて説明）

委員長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。令和5年度分の評価までは5段階、令和6年度分の評価からは4段階になるが、特に各評価点の基準について、前回は多くの意見をいただいた。これまでよりも具体的に規定することになるが、それらの規定をどのように解釈し、評価に落とし込むかは、各委員の知見に委ねられる。

（発言なし）

委員長：令和6年度分の評価を実際に行うのは令和7年5月となる。何かご意見等あれば、引き続きお寄せいただきたい。

続いて、議題（1）②令和6年度事業計画に入る。本委員会は、議事に関係のある方に出席を求め、その意見又は説明を聴くことができることから、以降の議題についておだわら市民交流センターの指定管理者にご出席いただく。指定管理者からご説明をお願いしたい。

（指定管理者 資料2に基づいて説明）

委員長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。

委員：市民活動入門講座について、大学生や高校生など、若い世代をメインターゲットにするということであった。実際に団体の活動で中心的な役割を担っていることの多い、50代から60代ぐらいの世代向けのものは予定しているか。

指定管理者：例年実施している、年代を問わない講座についても予定している。

委員：NPO法人からの相談ごととして、「解散したい」というものが目立ってきている。実際には活動を行わずに放置されているケースもある。内閣府のホームページで定款や活動実績が確認できるので、更新されていないNPO法人に状況を聞いてみるなど、能動的に支援できると良い。

指定管理者：高齢化により解散したNPO法人はいくつか見受けられる。早めに把握し、支援できるように努めたい。

委員：団体向けの講座について、12月に実施した助成金活用講座のように外部講師を招聘でき

ると、より団体に役立つものになると感じる。令和6年度はどのように予定しているか。

指定管理者：内部講師だけでは専門的な講座が難しい部分もあるので、予算との兼ね合いもあるが、一部講座で外部講師を招聘できるよう検討したい。分野によっては団体の中で講師を引き受けてくれるところもあるだろう。

委員：実績値や目標値が空欄の箇所もあるが、なぜか。

指定管理者：特にコンセプトに関する数値については、実績を把握しておらず空欄としている箇所が多い。コンセプト以外で空欄の部分は、今後精査させていただく。

事務局：実際にコンセプト面の評価を行う際には、単に目標値を達成したかどうか、という観点だけだと特に初年度は難しいと考えられるので、アンケートの結果等も考慮に入れながら、総合的に判断していただくことになる。

委員長：UMECO企画展とアクティブサロンの参加団体数について、令和5年度の実績値よりも令和6年度の目標値の方が低くなっているが、この理由は。

指定管理者：令和5年度は一度に複数の団体が参加する催しがあったなど、実績値としては高くなった。通常どおり実施する場合の目標値を記載したため見た目としては低くなっているが、取組としては同程度の想定である。

委員長：相談業務について、相談日を設けるとするのは良い取組である。専門相談に対応できる人員を常時配置するのは難しいので、効率的である。情報発信について、ホームページのスマホ対応は早急に進めていただきたいと考えるが、スマホから容易に相談日に関する情報を確認できるようにしていただきたい。今どきはスマホの検索に引っかからないと、それ以上の問合せなどは行っていないことが多い。

それでは、現時点で指標等が空欄の箇所などは引き続き精査の上、適宜委員会へ情報提供いただきたい。

#### ■ 議題（2）諮問事項「明日の小田原を創出する協働促進施策について」

委員長：議題（2）諮問事項「明日の小田原を創出する協働促進施策について」、事務局及び指定管理者からご説明をお願いしたい。

（事務局及び指定管理者 資料3に基づいて説明）

委員長：ただいまの説明で何か意見や質問はあるか。

委員：PR用概要版のデザインは、外注するのか。限られた紙面で情報を伝えるには、専門のノウハウが必要と考える。

事務局：基本的には、事務局の方で作成したいと考えている。作成にあたっては、広報広聴室において用意している、民間事業者からチラシ等のデザインへのアドバイスをいただける枠組みを活用する予定である。カラー印刷にするなど、可能な範囲で工夫してまいりたい。

委員：市民から見ると、一面に「協働事業」と載っていても何のことも伝わりにくいだろう。市民にとって分かりやすい文言を、分かりやすい位置に配置するよう心がけるべきである。

委員長：パートナーシップミーティングについて、今回は80人もの参加者があったということであるが、この要因はどのように考えているか。

指定管理者：共催である神奈川県をはじめ、南足柄市や開成町の協力を得られたことから、広い範囲で広報できたことが大きいと考えている。

委員長：3時間のうちにグループディスカッション等を行ったということだが、限られた時間内で十分な効果は得られたか。

指定管理者：グループディスカッションは2回行っており、1回あたり30分であったが、少し短かったとは感じている。参加人数が多く、グループあたりの人数も多くなってしまったこともあり、一部の参加者からは「時間が足りない」という声があった。

委員長：今後、単独のイベントでも多くの参加者があるよう工夫していただきたい。

委員：イベントの結果、連携が成立した感触はあったか。

指定管理者：グループディスカッションの中では、人数も多く自己紹介等で時間を使ってしまっていた印象がある。ただ、それでも興味を持っていただいた団体等はあったようで、交流タイムにアプローチしたり、後日UMECOに団体等の連絡先について3件ほど問い合わせがあったりと、一定の手応えは感じている。

■ その他

委員長：その他について、事務局から願います。

※今後の会議日程等について

第7回委員会・・・5月24日（金）午前 UMECO

第8回委員会・・・6月22日（土）午後 UMECO

■ 閉会